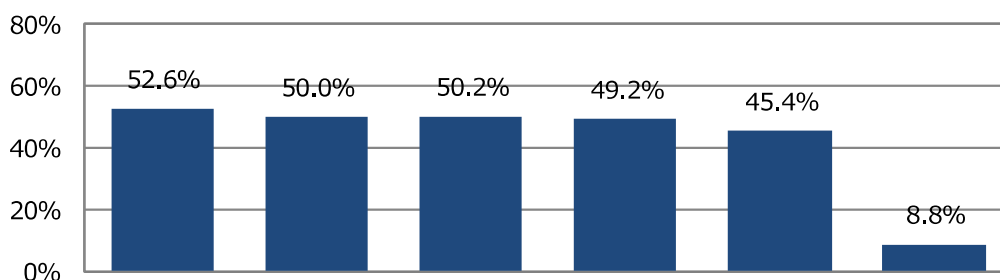


＜必要・計一覧：属性別(クロス集計)＞ (各単一回答)

今後就職に関して必要と考えるものについて尋ねたところ、属性別には以下のような傾向が見られた。

- 年代別に見ると、30～40代では全般的に全体に比べて特に高かった。30代では「労働条件に関する相談」、40代と60～70代では「魅力的な県内企業情報の提供」、50代では「就職・転職に関する相談」の割合がそれぞれもっとも大きかった。



	n数	魅力的な県内企業情報の提供	就職・転職に関する相談	労働条件に関する相談	キヤリア形成等に関するアドバイス	公共職業訓練	その他							
		n数	割合	n数	割合	n数	割合	n数	割合					
全体	500	263	250	251	246	227	44	52.6%	50.0%	50.2%	49.2%	45.4%	8.8%	
性別	男性	222	90	85	85	83	79	17	40.5%	38.3%	38.3%	37.4%	35.6%	7.7%
	女性	278	173	165	166	163	148	27	62.2%	59.4%	59.7%	58.6%	53.2%	9.7%
年代別	20代	13	11	11	11	11	10	2	84.6%	84.6%	84.6%	84.6%	76.9%	15.4%
	30代	53	35	37	38	36	32	9	66.0%	69.8%	71.7%	67.9%	60.4%	17.0%
	40代	82	58	57	56	52	48	8	70.7%	69.5%	68.3%	63.4%	58.5%	9.8%
	50代	91	45	46	45	39	38	9	49.5%	50.5%	49.5%	42.9%	41.8%	9.9%
	60代	143	70	62	62	66	62	9	49.0%	43.4%	43.4%	46.2%	43.4%	6.3%
	70代	118	44	37	39	42	37	7	37.3%	31.4%	33.1%	35.6%	31.4%	5.9%

※ n数 = 30以上のとき、全体と比較して ■ +5pt以上 ■ +10pt以上 □ -5pt以下 □ -10pt以下  
 ※各「必要・計(「オンライン(web)」+「対面(紙)」+「どちらでもよい」)」のスコア

---

### 【その他回答者のコメント（一部抜粋）】

---

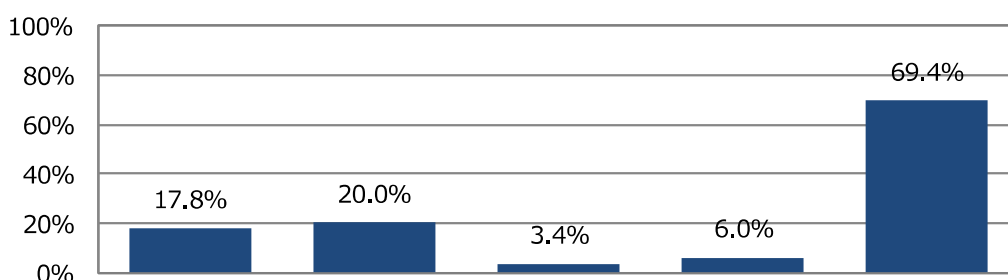
コメント	件数
必要な支援はない	239件
不明	2件
技術	1件
ハラスメントの相談	1件
子育てに優しい企業か	1件
持病ありの場合の就職相談	1件
福利厚生に関する相談	1件
法学	1件
労働トラブル対応	1件

### (31) 就職に関する支援機関の認知状況について

(複数回答可)

就職に関する支援機関の認知状況について尋ねたところ、「あてはまるものはない」の割合がもっとも大きく、69.4%であった。いずれかの認知率は30.6%となっており、具体的には「奈良県立高等技術専門学校」の割合がもっとも大きく、20.0%であった。

- 年代別に見ると、30代で「地域若者サポートステーション」が全般的に全体に比べて高かった。



		n数	奈良県立高等技術専門学校	奈良県立高等技術専門学校	センター	ト地域若者サポートステーション	はあてはまるもの
全体		500	89 17.8%	100 20.0%	17 3.4%	30 6.0%	347 69.4%
性別	男性	222	42 18.9%	48 21.6%	2 0.9%	8 3.6%	157 70.7%
	女性	278	47 16.9%	52 18.7%	15 5.4%	22 7.9%	190 68.3%
年代別	20代	13	0 0.0%	3 23.1%	0 0.0%	2 15.4%	8 61.5%
	30代	53	8 15.1%	7 13.2%	3 5.7%	6 11.3%	38 71.7%
	40代	82	17 20.7%	15 18.3%	4 4.9%	8 9.8%	55 67.1%
	50代	91	19 20.9%	17 18.7%	4 4.4%	3 3.3%	63 69.2%
	60代	143	30 21.0%	35 24.5%	2 1.4%	7 4.9%	94 65.7%
	70代	118	15 12.7%	23 19.5%	4 3.4%	4 3.4%	89 75.4%

※ n数 = 30以上のとき、全体と比較して ■ +5pt以上 ■ +10pt以上 ■ -5pt以下 ■ -10pt以下

## 4 外国人座談会

### (1) 実施概要

調査目的	奈良県内の事業所で働く外国人及び県内大学に通う外国人留学生等を対象とした座談会を実施し、仕事・生活に関する課題・支援ニーズ等を把握すること。また、座談会を通じて、県内の外国人労働者及び外国人留学生の働きやすさ・暮らしやすさを向上させ、今後も働く場所・暮らす場所として選ばれ続ける地域となるための施策検討につなげること。
テーマ	全体テーマ『外国人が住みたい町 奈良県を作ろう』 ----- テーマ①『なぜ日本に来ようと思ったか』 テーマ②『日本・奈良の好きなところ、嫌いなところ』 テーマ③『日本国内で引っ越すとしたらどこがいいか』 テーマ④『将来の夢』
アンケート 聴取内容	Q1.座談会の満足度（単一回答） Q1-1.満足度の理由（自由記述） Q2.奈良県に伝えたいこと（自由記述） Q.家族構成について（自由記述）
調査対象	県内事業所で働く外国人及び県内大学に通う留学生
調査数	県内事業所で働く外国人 5名 県内大学に通う外国人 5名
調査方法	ヒアリング調査
調査日	2021年2月18日（木）14：00～16：00
実施会場	奈良県コンベンションセンター

## (2) 座談会参加者の基本属性情報

		国籍	在留資格	年齢	性別	滞在年数
001	Aさん	中国	留学生	20	女性	4年
002	Bさん	マレーシア	留学生	23	女性	5年
003	Cさん	インドネシア	留学生	29	女性	5年
004	Dさん	中国	留学生	24	女性	2年
005	Eさん	韓国	留学生	27	男性	6年
006	Mさん	ベトナム	技能実習	27	男性	5年
007	Nさん	ベトナム	特定技能	30	男性	4年
008	Oさん	ベトナム	技術・人文知識・国際業務	30	男性	6年
009	Pさん	ミャンマー	技術・人文知識・国際業務	28	女性	6年
010	Qさん	ベトナム	技術・人文知識・国際業務	28	男性	3年

## (3) 座談会式次第

### 1.座談会テーマ紹介

- ・テーマ「外国人が住みたい町、奈良県をつくろう」

### 2.自己紹介

- ・参加者の自己紹介

### 3.奈良県の紹介

- ・奈良県の良いところ、産業、支援の紹介

### 4.座談会

- ・「生活」や「仕事」について

### 5.写真撮影

- ・参加者の集合写真

### 6.閉会のご挨拶

- ・奈良県から参加者へのメッセージ

## (4) 座談会

## テーマ①『なぜ日本に来ようと思ったか』

コーディネーター	今日の皆さんはほとんど N2 合格している。すごく大変なこと。皆さんの努力よく知っている。ちなみにミャンマー語はとても難しい。類似点が特に少ない。ミャンマー人の方が日本語勉強するってすごいこと。なので P さんが日本を選択された理由が気になるのですがいかがですか？どこで日本語を勉強した？
(就労者)P さん	ミャンマーの日本語学校で 1 年間。その後 3 年間留学して勉強。
コーディネーター	なぜ渡米して英語、などではなく日本語を選択したのですか？
(就労者)P さん	日本人優しい。
コーディネーター	優しい、親切。そう思っていたいてありがとうございます。もちろんそうでない人もたくさんいますが（笑）。 C さんはいかがですか？なぜ日本を選択した？
(留学生)C さん	元々母国の大学で日本語学科専攻していた。また大学が現在通学中の大学と提携していたこともあり、交換留学制度を利用してきた。両親も後から来日、東京に在住。
(留学生)E さん	高校の時に第二言語で日本語を選択していた。漢字も得意で、向いていると感じて選択した。軍隊でも漢字を磨き、軍隊終わってから来日した。
コーディネーター	韓国の方々は日本語がとても上手。見分けがつかない。
(就労者)O さん	社会人になったとき、建築業界で日本の企業と同じプロジェクトに日本人エンジニアがいて、話したかった。お互い話したいという思いがあったが、英語も弱いので、自分が日本語を勉強した。そういったきっかけでその後縁もあって来日。
(就労者)M さん	23 歳まで外国に行ったことが無かった。日本語できるようになると母国へ戻ってから自分で仕事ができる可能性がある。
(就労者)N さん	日本のアニメが好きでよく見ていた、どんな国なのか知りたいという気持ちがあった。
コーディネーター	日本のアニメが好きな方！（半数が拳手）
(留学生)A さん	留学前に 3 回ぐらい旅行で来ていた。奈良はゆっくりできる雰囲気が好きだった。東京にいた期間もあったが、見えないストレスをすごく感じていた。奈良ならゆっくりできるし、鹿もいるし、自然が感じられる。関西が好きになって、現在通学中の大学に行きたい研究室もあったので選択した。
(留学生)D さん	3 年生のとき留学経験、大学の先生が現在通学中の大学出身で興味を持ち始め、行きたいと思うようになった。
コーディネーター	キャンパスはきれいな？授業は？
(留学生)A さん	小さい（笑）。敷地が狭い。授業はわかりやすいが、関西弁が強いと半分くらいわからない。
コーディネーター	関西弁はどう？

<b>(就労者)Qさん</b>	はじめは全然わからなかった。
<b>コーディネーター</b>	皆さんが勉強してきた日本語と全然ちがうからわからないですね。Pさんは、従業員の言葉は関西弁？通訳するときどう？
<b>(就労者)Pさん</b>	関西弁は早口で聞きとるのがむずかしい。
<b>コーディネーター</b>	関西弁は早いし独自の言葉も多くて難しいですね。習ってきた日本語がそのまま使えない。「あかん」「ほっといて」などよく混乱するのを知っている。 様々なご意見ありがとうございます。日本人は親切な人が多いだろう、高い技術・スキル学べる、自然がある、落ち着く…といった魅力があることがわかりました。奈良県の皆さんも喜んでいると思います。

テーマ②『日本・奈良の好きなところ、嫌いなところ』

<b>コーディネーター</b>	日本人のこういうところが好きだが、逆に母国のの方がいいな、といったことあれば教えてください。各国にいいなと思うところ、しんどいなと思うところ必ずあると思う。面接でも授業でもないので、素直にお答えください。
<b>(就労者)Oさん</b>	真面目、ルールを守る、社会的で他人の立場で考えられる人が多い。 嫌なこととしては、関西の現場で働くときは、いじめられることも多かった。特に大阪で。奈良ではあまりなかった。日本人と外国人で態度が違うところも気になる。何か悪いことがあったときに、まず外国人に疑いの目が向けられることも多かった。また、ルールを守りすぎるので、新しいことに対して頭が固い。もっといい方法があるのではないかと、時間がかからない方法がある、といったことでも柔軟性がないことが多い。
<b>(就労者)Pさん</b>	差別は感じることもある。自分のことはまじめに取り組むが、周りのことを手伝ったりする雰囲気薄い。
<b>サポーター</b>	好きなところは心遣い、気配り、人の都合を考えて行動するところ。相手の感情や考えを推測して行動するが、相手にもそれを求めてしまう。外国人はそれに慣れていない。思っていることや感情はストレートに表情や行動に出てしまう。
<b>(留学生)Eさん</b>	好きなところは、仕事や何かのやり方を教えるとき、1から10まで丁寧に教えてくれる。それが窮屈な時もある、自分も小学生ではなく、できること、知っていることもあり、端折ってくれてもいいのに、わざわざ1から10まで教えてくれるときには、頭が固いと感じる。差別は感じることはない。
<b>(留学生)Bさん</b>	好きなことは交通と治安がいい。マレーシアでは交通が不便、車が必要。日本では夜一人で歩いて帰れる。嫌いなこと、料理が少ない。母国の味がなかなかない。
<b>(留学生)Aさん</b>	距離感が好きでもあり、嫌いでもある。例えば中国では地下鉄に乗ると高齢者が若い子を捕まえて、根掘り葉掘り聞かれることもあり、個人情報や言いたくないことまで聞かれるのが時々嫌になっていた。一方日本ではみんな自分のことだけやっている。その距離感が心地いいときもあった。ただコロナで一人暮らしが続くと、母国の近い距離感がいいと思った。日本人の距離感が嫌な感じに出ているようにも感じた。

(留学生)Cさん	嫌なことは、ゴミの分別がうるさいこと。好きなことは治安が良いこと。夜も女性が歩ける。嫌なこと、自分の格好について、外でじろじろ見られたり、スカーフ外せないのかスタッフに聞かれたり、宗教の理解が薄い。また、人間関係が複雑。現在通学中の大学であまり友達が作れない。難しい。
コーディネーター	現在通学中の大学では留学生が多い？交流ある？
(留学生)Bさん	4年通う人と、1年の短期の人もいて、接点はあまりない。大学内で外国人交流会なども実はあまりなくてお互いのことはあまりよく知らない。新生者が来ても気付かない。知りたくても学年を超えた交流の場も少ない。
コーディネーター	私もいろいろな国の方々と接するが、やはり話にでたように文化が違う。日本は島国文化。中国も韓国もこんなに近いのに陸で接していない。江戸時代の鎖国も長かった歴史もあってか、そういった文化がある。悪く言うと差別。よく言えば接し方を知らない。どう話せばいいかわからないという人が多い。皆さんから出た意見は正しいと思う。ただ多くの日本人は接し方がわからないため、悪気なく差別やいじめに近いことをしてしまうことも。日本人側も行政や大学側でも相互理解を促進するような取り組みがあれば、そういうハードルも取っ払っていいのではないかと思う。

テーマ③『日本国内で引っ越すとしたらどこがいいか』

コーディネーター	奈良以外で行ってみたい土地とその理由を教えてください。
(就労者)Qさん	いま大阪で、動きたくはない。東京は物価が高いと聞いている。
(留学生)Aさん	東京でもディスカウントストアなら奈良より安い店も普通にある。
(留学生)Bさん	都市がいい。外国人は部屋探していろいろ難しいことも多い。都市の方が探しやすい。
コーディネーター	部屋探して外国人お断りってある？
(留学生)Cさん	保証人がハードル
(就労者)Pさん	いまは会社の寮
(就労者)Oさん	外国人が住みやすい物件が大阪に多い。いま不動産仲介の仕事をしているが、関東より関西の方が外国人は住みやすい。奈良と大阪は特に優しい。自治体によって柔軟性に差がある。
(就労者)Mさん	大阪が良い。面白い場所や大きい町が多く、友人も多い。
(留学生)Aさん	鎌倉。海が好きで、大仏もあるし。大仏を見ると落ち着く。
(留学生)Cさん	3月に東京に引っ越す予定。本当は奈良が好き。選べるなら鳥取がいい。人がいないほうがいい。東京は両親がいるので。
(留学生)Eさん	海が好きで静岡県がいい。熱海で一か月住み込みバイトしたことがあり。外の景色を見ていてとても魅力的だった。奈良県はもちろん好きです。
コーディネーター	私は出身は関東だが30年住んだ関西が大好き。関西は京阪奈どこも近いのがいい。



テーマ④『将来の夢』

コーディネーター	例えば5年後、10年後どういう風な自分でいたい？
(就労者)Pさん	日本語学校をマンマーに作りたい。日本に留学生、実習生派遣をできるように作りたい。
(留学生)Cさん	インドネシアで大学教員になりたい。日本語学部で。神戸の女子大でインドネシア語を教えていた経緯もあり、日本人にインドネシア語を教える活動もしていきたい。
コーディネーター	母国で奈良のことどう紹介する？
(留学生)Cさん	地元ジョグジャカルタみたいな場所。
(留学生)Bさん	はっきりはないが、韓国語とタイ語をマスターしていきたい。いまやっている弓道も続けていきたい。
コーディネーター	母国で奈良のことどう紹介する？
(留学生)Bさん	奈良は知名度が低い。母国ではあまり知られていない。自然、鹿、歴史といった要素で紹介する。
(留学生)Aさん	大学院に進学し、できれば博士課程まで進みたい。その後大学教員か研究職を意識している。
コーディネーター	母国で奈良のことどう紹介する？
(留学生)Aさん	「めっちゃいいところ」。定年退職したら奈良に住みたい。
(留学生)Dさん	自分の事業を立ち上げたい。奈良でも短い期間働いてから、中国に戻って事業を始めたい。
コーディネーター	母国で奈良のことどう紹介する？
(留学生)Dさん	勉強するのにとてもいい環境。奈良の教育水準は大阪より高い。
(留学生)Eさん	人に役立つ仕事がしたい。機械に代えられないどうしても人が必要な仕事を、と考えており、人材派遣の勉強をし、将来的には外国人専用のそういった事業を立ち上げたい。
コーディネーター	母国で奈良のことどう紹介する？
(留学生)Eさん	とにかく来て。教えてやる。
(就労者)Qさん	今年の4月で1年になるが、まだ会社の仕事に慣れていないので、まずは今の仕事をよくできるように頑張りたい。
(就労者)Oさん	5年経過したら永住権を取って、奈良に自宅を設けたい。大阪より物件単価も安いし、子供の教育など考えてもいい環境。将来的に貿易関連の会社を日本で立ち上げたい。
(就労者)Nさん	いま3年。特定技能なので5年まで頑張る。
(就労者)Mさん	技能実習3号。5年終わったら特定技能でもう3年頑張って、その後ベトナム帰って仕事をしたい。

コーディネーター	母国で奈良のことどう紹介する？
(就労者)Mさん	にぎやかな場所や自然がある場所。
コーディネーター	テーマ「外国人が住みたい町奈良県をつくろう」に立ち戻ってまとめます。「こんな奈良県に住んだら幸せ」「こんな奈良」を作るのは行政の方だけではなく、暮らしている皆さんであり、僕たちです。今日のお話は是非周囲の人たちにも伝えて欲しい。私達も伝えていきます。本当に外国人が住みたい、住んでよかったと思えるよう、みんなで作っていききたいと思います。今日は皆さんのお話を聞いて幸せでした。ありがとうございました。

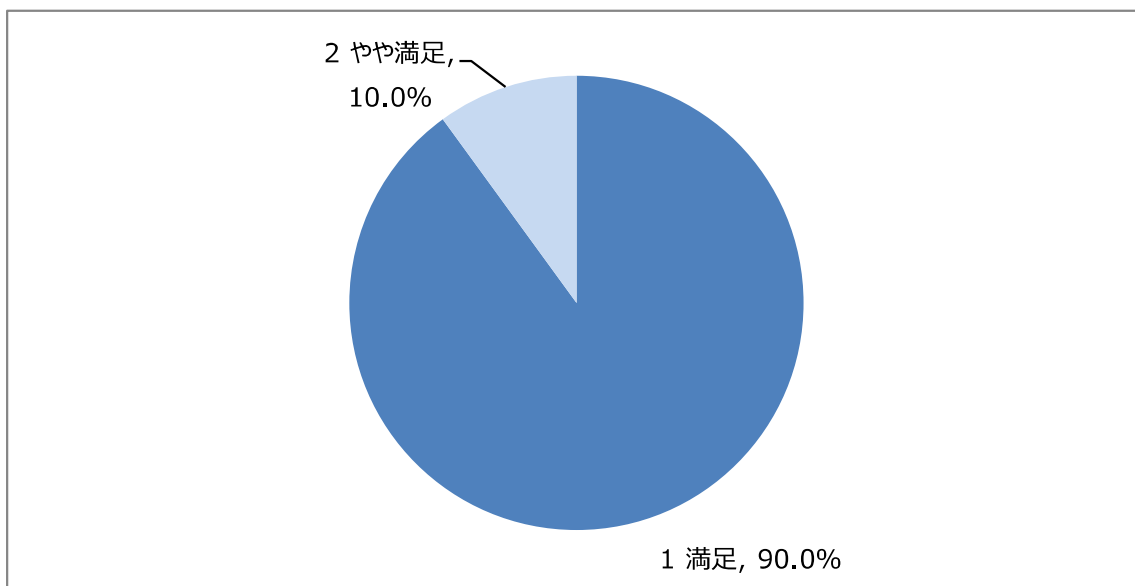
閉会の挨拶

奈良県	<p>本日は皆さんの貴重なご意見を聞かせていただき、本当にありがとうございました。皆さんのお話の中でもありましたように、日本人は相手の気持ちを読む、伺うという性格は間違いなくあると思います。それ故に感情や考えが分かりにくいと言われるのも事実です。</p> <p>現在、奈良県内で古くから頑張ってきた企業において、皆さんのような諸外国の方々と一緒にビジネスをしたいと言う声が増えてきています。皆さんに対して期待することは、母国に帰った時に、日本・奈良との橋渡しをしていただきたいということです。</p> <p>先日、外国人留学生のために集まった企業の方々とは面接した際、企業の方々には外国文化に初めて触れる方もいらっしまったので、上手にコミュニケーションが取れなかったと、とても反省されている方が多かったです。</p> <p>しかし回数を重ねるごとに、どんどん親しい関係になれると思います。差別の話や習慣が違うというお話もありましたが、お互いを理解できるような時が必ず来ると考えています。</p> <p>日本は島国ですから、なかなか簡単に母国の方と会えるような状況ではありませんが、これからも母国と日本・奈良ともっと交流を重ねて、いい国づくり、世界作りを出来るように頑張っていきたいと思っていますので、引き続きお力添えをお願いします。</p> <p>最後に、奈良のことについて少しでもPRさせてください。</p> <p>奈良はご存じのように、日本の起源です。以来、皆様の母国からも、多くの文化や技術をいただきました。その技術を元に日本はここまで発展することができたのです。決して日本国内だけで発展できたわけではなくて、お隣の中国、韓国、ほか皆様の母国の方々の技術や文化をいただいたので、奈良が起点となって日本は現在のように発展することができたと考えています。本当に感謝しています。</p>
-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p><b>奈良県</b></p>	<p>さらに、日本ではかつて疫病が蔓延しました。そうした経緯から、奈良では薬師如来と呼ばれる、いわゆるお薬の神様の仏像が沢山残っています。人々の病気をなくして、平和な国を取り戻したいと、お祈りをした土地です。いわゆる宗教の街です。</p> <p>それから都は、京都や東京に変遷し、貴族の文化、侍の文化へと変化していきましたが、奈良は 1300 年前から精神的なところは変わらず、世界平和、治安維持を祈り続けてきた町です。また、お祈りを大事に思う人たちがお坊さん以外にもいて、また、奈良だけでなく日本国中にいたので、今でも奈良県はお祈りができる街になっています。ですので、A さんがおっしゃったように、なんだか落ち着くという雰囲気は、いたる所でお寺さんや仏さんが目につくからかもしれません。母国へ戻ったり都市部へ出たりして、落ち着かないと感じた時には、また奈良に来ていただけたら落ち着くことができると思います。そういったことを少しでも覚えていただき、日本・奈良とのつながりを意識していただけますと嬉しいです。</p> <p>今日来ていただいた皆さんとお話できる機会、ご縁をいただけて、私もとても嬉しく感じています。本当に今日はお疲れ様でした、ありがとうございました。</p>
-------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### (5) アンケート結果

Q1.本日の座談会は満足してもらえましたか。



		n=10	
結果		合計	構成比
1	満足	9件	90.0%
2	やや満足	1件	10.0%
3	やや不満	0件	0.0%
4	不満	0件	0.0%
合計		10件	100.0%
		無効・無回答	0件

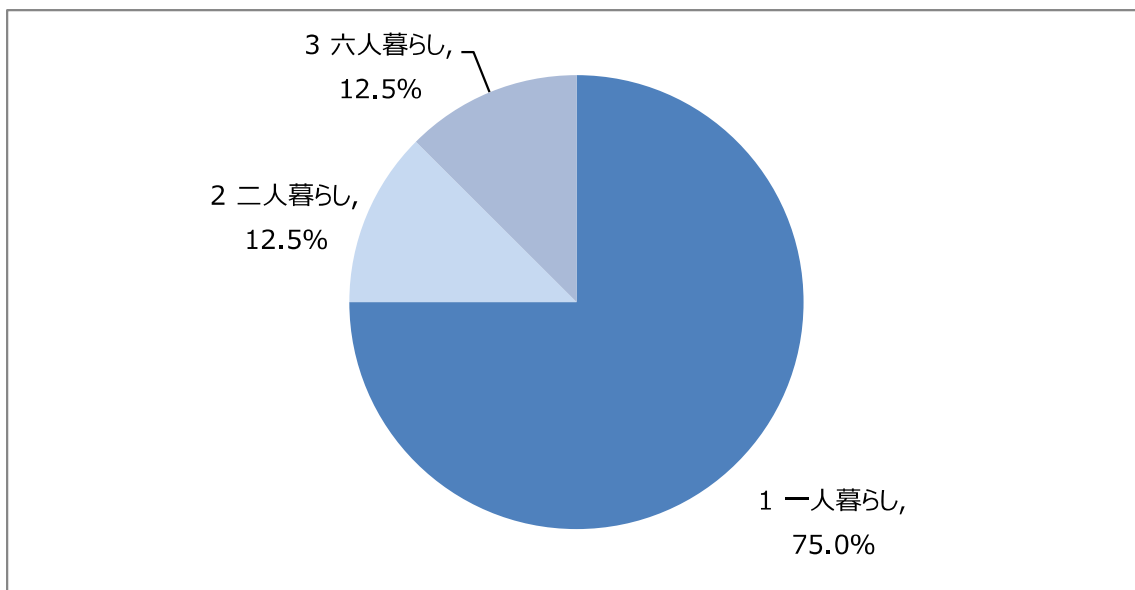
Q1-2.理由を自由にご書いてください。

奈良県のことがよく分かったし、外国人の方々から色々なことや、意見が交流できたので。(満足/就労者)
この座談会に参加して、たくさんの国の留学生や外国人と交流して、日本の方々からもたくさんの考えを聞いて、とても面白いです。とてもよい経験だと思います。(満足/留学生)
とても楽しかったです！いろいろな外国人と会って、日本に関することについて交流できて、楽しかったです！また奈良県の魅力の説明のおかげで奈良県から引っ越したくなくなります T_T。(満足/留学生)
この座談会のおかげで奈良県のこと、いろいろなきれいなところ、特別なところを知りました。(満足/就労者)
本日の座談会は満足でした。(満足/就労者)
座談会に参加させていただきありがとうございました。気楽な雰囲気です話せたおかげで 2 時間充実して過ごすことができました。「奈良が好き！」と情熱を感じました。(満足/留学生)
いろいろな方々の意見を聞かせて頂けてすごく良かったです。(満足/留学生)
楽しかったです。ありがとうございました。(満足/留学生)
面白い話が多かったです。(やや満足/就労者)

Q2.座談会で話したことの他に、奈良県に伝えたいことはありますか。自由に書いてください。

観光業をもっと発展させてほしい。(就労者)
観光業をもっと発展させてほしい…(就労者)
外国人に対して賃貸物件と仕事が増えれば、外国人は奈良にたくさんきてもらえます。(就労者)
奈良県は全国的に言うと地震が少ないのでよかったと思います。(就労者)
奈良県にはもっときれいなところがあると広告しようと思っています。(就労者)
実際に住んで欲しいと思われる外国人像はどうでしょうか。ただの外国人が住みやすいまちを作っていきたいのか、それとも日本語が話せる外国人がいいのか、頭に疑問が浮かびました。日本文化に馴染んで欲しい日本人が多いと思うので、ルールを守ることができる外国人が望ましいのではないかとと思っています。(留学生)
奈良に住むことがとても幸せです。(留学生)
2年前、奈良市内に新幹線駅ができないとの内容のニュースを聞きましたが、実現されてほしいです。(留学生)
自分の大学ではこのような座談会や交流会はあまりなく、今回参加してみんなの考えを聞いて、楽しい時間を過ごしました。奈良県の外国人は他の町より少ないので、時々さびしい思いをします。もうちょっとイベントを作って頂ければ嬉しいです。(留学生)
私はイスラム教なのでけっこう食べものの制限があり(豚肉を食べられない、お酒もダメ)、もっとムスリムフレンドリーの方がいいと思います。(留学生)

Q.家族構成について。



結果		合計	構成比
1	一人暮らし	6件	75.0%
2	二人暮らし	1件	12.5%
3	六人暮らし	1件	12.5%
合計		8件	100.0%
		無効・無回答	2件

n=8



## 第3章

### まとめ





## 第3章 まとめ

### (1) 県内企業向け調査

#### ●新型コロナウイルス感染症が事業活動に及ぼした影響について (p.4~p.13)

新型コロナウイルス感染症が事業活動に及ぼした影響について、〈売上〉〈営業時間〉〈残業時間〉〈雇用調整助成金の活用状況〉ごとに聴取した。

〈売上〉に及ぼした影響について昨年同時期比で尋ねたところ、「減少した」割合は全体で6割強となり、全体に比べて「減少」が高い業種は製造業・卸売業・飲食・小売業であった。また、減少したと回答した事業所に対して減少率を尋ねたところ、「20%~40%未満」の割合がもっとも大きく、4割であった。なお、昨年同時期比で〈売上〉が「増加した」割合は全体で1割未満に留まり、増加したと回答した事業所に対して増加率を尋ねたところ、「20%未満」の割合がもっとも大きく、6割であった。

〈営業時間〉に及ぼした影響について昨年同時期比で尋ねたところ、「影響あり」の割合は全体で3割弱を占め、具体的には「休業」が1割半ば、「時短営業」が2割であった。飲食・小売業は「時短営業」、製造業は「休業」が全体に比べて高かった。

〈残業時間〉に及ぼした影響について昨年同時期比で尋ねたところ、「影響あり」の割合は全体で約3割となり、内訳としては「減少した」が2割半ばを占めた。

〈雇用調整助成金の活用状況〉について昨年同時期比で尋ねたところ、「活用した」割合は全体で3割弱であった。売上高規模が大きくなるほど「活用した」割合が高い傾向にあった。全体に比べて「活用した」割合は、建設業で低く、製造業で高かった。

#### ●新型コロナウイルス感染症対策として実施している勤務体系について (p.14~p.20)

新型コロナウイルス感染症対策として実施している勤務体系について、〈テレワーク〉〈時差出勤〉〈フレックス制〉〈ローテーション制〉の実施状況を聴取した。

新型コロナウイルス感染症対策として実施している勤務体系について尋ねたところ、いずれかを「実施している」割合は全体で3割弱となり、具体的な勤務体系としては、「新たにテレワークを実施」「ローテーション制」「新たに時差出勤を実施」が1割前後であった。売上高規模が大きくなるほどいずれかの勤務体系の実施率が高い傾向にあり、10億円以上では「新たにテレワークを実施」「新たに時差出勤を実施」「ローテーション制」の実施率が高かった。業種別に見ると、建設業ではいずれかの勤務体系の実施率が2割に留まり、サービス業、その他では「新たにテレワークを実施」の実施率が高かった。

〈テレワーク〉〈時差出勤〉〈フレックス制〉について新たに実施、または以前から実施と回答した事業所に対してそれぞれの継続状況を尋ねたところ、〈テレワーク〉〈時差出勤〉〈フレックス制〉を以前から実施したと回答した事業所ではいずれも「収束後も当面継続」が8割半ば~9割半ばを占めた。〈テレワーク〉〈時差出勤〉を新たに実施したと回答した事業所では「すでに終了」「収束後も当面継続」がそれぞれ3~4割程度に分かれた。〈フレックス制〉を新たに実施したと回答した事業所では「収束後も当面継続」が6割を占めた。

なお、新型コロナウイルス感染症対策として〈テレワーク〉を実施していないと回答した事業所に対して、実施していない理由について尋ねたところ、「適した業態ではない」が9割弱を占めた。

#### ●新型コロナウイルス感染症が採用活動に及ぼした影響について (p.21~p.28)

新型コロナウイルス感染症が採用活動に及ぼした影響について、〈新卒採用活動〉〈中途採用活動〉ごとに聴取した。

採用活動をしている割合は、〈新卒採用活動〉で3割、〈中途採用活動〉で4割弱であった。内訳としては、「変化なし」の割合が〈新卒採用活動〉で2割半ば、〈中途採用活動〉で3割を占めた。

〈新卒採用活動〉〈中途採用活動〉ともに売上高規模が大きくなるほど「変化なし」が高く、また、採用活動をしている割合が高い傾向にあった。〈新卒採用活動〉〈中途採用活動〉ともに建設業・サービス業、その他で「変化なし」が高く、また、比較的採用活動の実施率が高かった。製造業・卸売業では「採用活動をしていない」が全体に比べて高かった。

また、〈新卒採用活動〉及び〈中途採用活動〉をしていると回答した事業所に対して、応募者数の変化について尋ねたところ、〈新卒採用活動〉〈中途採用活動〉ともに「変化なし」の割合がもっとも大きく、〈新卒採用活動〉で約7割、〈中途採用活動〉で6割強であった。業種別に見ると、〈新卒採用活動〉〈中途採用活動〉ともにサービス業、その他で「減少」、〈中途採用活動〉においては、建設業・卸売業で「変化なし」が全体に比べて高かった。

#### ●新型コロナウイルス感染症禍における取り組みへの関心度について (p.29~p.37)

新型コロナウイルス感染症禍における取り組みへの関心度について尋ねたところ、「少し関心あり」と「大いに関心あり」を合計した「関心あり・計」は、コロナ禍以前・調査時点ともに「従業員のスキルアップ支援」がもっとも大きく、3割半ばであった。「関心あり・計」におけるコロナ禍以前から調査時点の差分は「働く時間と場所の多様化に対する施策」でもっとも大きく、10ポイント強増加した。

売上高規模別に見ると、10億円以上の事業所は全般的に関心度が高かった。また、コロナ禍以前から調査時点の差分を見ると、5~10億円未満で「働く時間と場所の多様化に対する施策」「採用活動のオンライン化」、10億円以上で「働く時間と場所の多様化に対する施策」「採用活動のオンライン化」「業務効率化のためのシステム投資」「ネット通販やオンラインサービスの導入」において特に関心が高まっている様子が伺えた。

業種別に見ると、サービス業、その他の事業所は全般的に関心度が高かった。また、コロナ禍以前から調査時点の差分を見ると、建設業・製造業・卸売業で「働く時間と場所の多様化に対する施策」、サービス業、その他で「働く時間と場所の多様化に対する施策」「採用活動のオンライン化」「業務効率化のためのシステム投資」において特に関心が高まっている様子が伺えた。

●一時的に従業員を他社と共有する仕組みについて (p.38~p.43)

一時的に従業員を他社と共有する仕組みへの関心度について尋ねたところ、「関心なし」の割合がもっとも大きく、8割強であった。「ぜひ活用したい」「活用してもよい、関心がある」を合計した割合は1割強であった。「既に実施している」は1割未満に留まっており、全体に比べて高い事業所は、売上高規模では10億円以上、業種ではサービス業、その他であった。

一時的に従業員を他社と共有する仕組みへの関心度について、「ぜひ活用したい」「活用してもよい、関心がある」と回答した事業所に対して、活用方法について尋ねたところ、送出と受入の「両方」の割合がもっとも大きく、5割半ばを占めた。また、「送出」よりも「受入」の方がより活用意向が高かった。

一時的に従業員を他社と共有する仕組みへの関心度について、「関心なし」と回答した事業所に対して、関心がない理由について尋ねたところ、「人材の過不足がない」割合が5割弱を占めた。

●有給インターンシップの実施について (p.44~p.46)

有給インターンシップの実施状況について尋ねたところ、「元々計画していない」割合が9割強を占めた。売上高規模別に見ると、売上高規模が小さくなるほど「元々計画していない」が高い傾向にあった。

有給インターンシップの実施状況について、「元々計画していない」と回答した事業所に対して、関心有無について尋ねたところ、「関心なし」が9割強を占めた。